

第1回 CCS 事業に関する連絡会議 議事要旨

○日時

令和8年5月29日（金） 10時00分～12時00分

○場所

千葉県庁 中庁舎10階大会議室

（WEB会議を併用）

○構成員等

「構成員等名簿」のとおり

※株式会社三井住友銀行 欠席

○議題

（1）「CCS事業に関する連絡会議について」

- 千葉県より、資料1「CCS事業に関する連絡会議について」、資料2「CCS事業に関する連絡会議設置要綱（案）」を説明。

（2）カーボンニュートラル実現に向けたCCS政策の動向について

- 経済産業省 資源エネルギー庁より、資料3「カーボンニュートラル実現に向けたCCS政策の動向について」を説明。

（3）CCS事業法における保安措置について

- 経済産業省 産業保安・安全グループより、資料4「CCS事業法における保安措置について」を説明。

（4）首都圏CCS事業について

- 首都圏CCS株式会社より、資料5「首都圏CCS事業について」を説明。

【構成員からのご意見、ご質問】

〔匝瑳市〕

住民説明会の中では、やはり事業の安全性という点で、市民の皆様から意見、質問をいただいた。

安全性という面での不安を払拭するといった点でも、今後とも事業の進捗に合わせた特定区域に隣接する住民の皆様方への説明、また事業の認知を広げるための広報や周知をお願いしたい。

また、事業を進める上では、漁業関係者の皆様の理解というところが必要不可欠である。今後とも事業の説明や報告を丁寧に行っていただき、事業を進めていただきたい。

〔山武市〕

今回、手続きのフローや許可制度のフローを示していただいた。市議会でも一般質問などで、今後、手続き関係を問われることもあると思う。事前にある程度の周知をお願いしたい。

住民説明会を実施したところ、安全性や景観を懸念する質問や、本事業に十分なメリットがあるのかという意見が寄せられた。これらを踏まえ、メリット、デメリットなどを整理しながら、地域振興政策を考える必要があるように思う。今後、住民説明会を開催する際は、地域振興についての説明が求められると考えている。市民への速やかな情報提供を進めていくうえで、随時情報共有が図れるよう、引き続きよろしくお願いしたい。

〔九十九里町〕

本町としてもこういう会議があるということで非常に安心しているところである。

九十九里町については、6月の議会において、議員の方から CCS 事業について質問が上がっている。住民説明会等でも質問があったが、やはりこの事業が安全なのか、安心なのか、また生活や産業にどのような影響があるのかということを中心に心配されての質問と理解している。

そういったものに対して、できるだけきちんと伝わるような説明を行っていきたいと考えている。丁寧で分かりやすい説明を行い、深く理解をしていただけるように、逐一情報を流すということを我々はしていかなければいけないと思っているので、その際、色々な

ことを教えていただけたらと思う。どのような形が一番伝わるかをお互いに考えながら進めていければと思っている。

現在、本町には九十九里漁業協同組合があり、一番関係している団体でもあるので、常に連絡を取りながら進めていきたいと考えている。町民、関係する団体、全ての皆様が深く理解できるよう情報を流していくことが、我々の役目でもあるのかなと思っている。ぜひ協力をお願いしたい。

〔横芝光町〕

今度の6月議会で、複数の議員からCCS事業について質問がある予定である。事業への関心が高まってきており、一部には不安を感じている方もいるので、今後も進捗に合わせた適切な情報提供をいただきながら、住民の皆さんにもこの地域でCCS事業ができてよかったと感じていただけるような、何らかのメリットの提示や地域共生策などに反映いただけるとありがたい。

〔木更津市〕

先ほどの説明では、今後十分に安全を確認しながら、まず試掘を進めていく旨を伺えた。本市においては、パイプラインが通過することから、安全性や影響について、十分な説明が必要であると考えており、進捗状況に応じて、適宜、市民及び議会への説明が必要であるため、引き続き情報の提供をお願いしたい。

〔茂原市〕

本市においてもパイプラインの通過に伴って影響等があるのではないかと色々な方から言われている。

また、CCS事業で地震が誘発されないかと心配する声も上がっている。

この会議において、進捗状況などを共有していただいて、市民等に情報提供していきたい。

〔市原市〕

経済産業省からの話を伺い、保安も含めて丁寧に進めていただいているということで安心している。

また、首都圏 CCS 株式会社においては、昨年から地元に入り、丁寧に説明していただいている。

本市は石油化学産業の多くの企業を抱えており、本市の企業も GX の推進という点で非常に CCS 事業については注目しているので、具体化していく過程で企業も含めていろいろな情報共有していただきたい。

[君津市]

本市の特徴としては、本市の CO2 排出量は鉄鋼関連企業が 9 割以上ということになる。その CO2 の削減に CCS 事業は寄与するものと思っており、大変期待している。

事業の円滑な推進に向けて、パイプラインの沿線や貯留する九十九里沖の皆様方に丁寧な説明をしていただき、速やかに事業を進めるようにしていただきたい。

[袖ヶ浦市]

本市では、安全面に対して不安視する声が多く寄せられており、各自治体からも安全性が重要という意見があったとおり、本市もそのように考えている。

この連絡会議の立ち位置を聞きたい。設置趣旨では、地元の地方公共団体、漁業者、事業者等の関係者の意見を集約すると書いてある。この会議において、例えば地元の意見を持ち寄って、それを審議していただける場として活用できるのかということをもまず一点伺いたい。

2 点目は、先ほど保安措置についても十分な説明をいただいた。懸念する意見として、安全性が担保されていないという声、例えばアメリカのミシシッピ州の漏洩事故などの指摘がある。これだけの保安措置が検討されているということが伝わりきれてないと感じている。今後これをどう伝えていくのかをお聞きしたい。この保安措置の監督省庁がどこになるのかということと、これをどのように審査されて安全性を担保していくのか、今の段階でお答えできるのであればよろしくお聞きたい。

[大網白里市]

(WEB 参加であり、通信回線の不具合のため発言はなかった)

〔白子町〕

昨年9月議会で質問があり、その後にCCS説明会を開催していただいた。パイプラインを通過する町として、今後、道路部局との丁寧な協議が必要になるため、事業の進捗と丁寧な説明をお願いしたい。

〔長柄町〕

本日は丁寧な説明をいただいた。他の自治体と全く同じであり、昨年度、議員から一般質問があった。町民の方から安全性についての問い合わせが増えてきている。パイプラインを通過する町ということで、引き続き安全性について地元に対して丁寧な説明をお願いしたい。

〔株式会社 INPEX〕

本日は皆様、お集まりいただきまして、どうもありがとうございました。私たち INPEX としましても、ネットゼロに貢献するために、CCS の取組に全力を傾けているところである。もちろん、安全に配慮しながら、この首都圏 CCS 事業をうまく進めていきたいと考えている。引き続き皆様のご支援をいただければと思っている。

〔関東天然瓦斯開発株式会社〕

千葉県外房地域で、これまで95年にわたって天然ガスを開発させていただき、地域には大変お世話になっているところである。

今までのエネルギー資源の開発だけではなく、化石燃料資源の生産者という立場からカーボンニュートラルに向けた取組についても、使命感を持って取り組んでいきたいと考えており、INPEX と一緒に首都圏 CCS 事業の検討に参加させていただいている。

今、皆様からいただいた心配や不明な点などを我が事として真摯に取り組んでまいりたいと考えている。

〔首都圏 CCS 株式会社〕

貴重な意見をありがとうございました。各市町に共通するお話として、やはり住民の皆様の安心であったり、そして安全な施工ということを非常に切実に望まれているということを改めて理解した。

この事業を進めていくにあたり、しっかりと住民の皆様とコミュニケーションをとって、決して一方的ではない、双方向のコミュニケーションという形で皆様の疑問に答えていく、そして我々からも皆さんの意見を吸い上げていく、といった形で対応させていただきたいと思っている。まだここはできていないというようなことがあれば、どんどん言っていたいて、我々もしっかりと受け止めながら進めさせていただきたいと思っている。

[日本製鉄株式会社]

鉄鋼業は、日本の産業で CO2 を大量に排出している産業であり、CO2 を削減していくことに非常に力を入れて、取組をいろいろと進めている。例えば、弊社は君津地区に試験高炉を設置して、発生そのものを減らす技術開発も進めている。一方で、ネットゼロを目指すという中においては、CCS も重要な施策の一つということで、首都圏 CCS の先進的 CCS 事業に、関わらせていただいている。あくまで技術的に安全なものになるということ为前提に進めていく。引き続き丁寧に対応してまいりたい。

[出光興産株式会社]

このような会を主催していただいた千葉県の皆様に感謝申し上げます。また、日頃より様々な事業の支援をいただいております、改めて感謝申し上げます。経済産業省の皆様、首都圏 CCS 株式会社の皆様に、現状の進捗等を丁寧に説明いただいたおかげで全容を正しく理解することができた。弊社はコンビナートの立地企業として参加をさせていただいているが、これまで議論されている通り、この CCS に関する安全性、環境への影響について丁寧に評価を行っていただき、地元の皆様の十分な理解を得ながら議論が進められていくことに期待している。

[AGC 株式会社]

体系的かつ丁寧な説明だったのでよく理解ができた。今後事業を進めていく上では、経済産業省、千葉県はじめ、行政の方々の指導のもと、地域の方々の理解の上で進めていければと思っている。CCS だけではなく、CCUS にも力を入れて、何か自分たちの身の丈の合った協力ができることがないかということを日々模索している。今後も皆様と連携させていただき、取り組んでいきたい。

[大阪国際石油精製株式会社]

弊社も石油精製業であり、CO2 の大規模排出事業者ということで、CCS には大変強い興味を持っている。引き続き会議に参加させていただき、情報収集させていただけたらと考えている。

[コスモ石油株式会社]

弊社も長年にわたり、京葉臨海コンビナート企業の一員として市原市で事業を行っているので、やはり CO2 を大量排出する企業として CO2 を貯留する CCS に大変興味を持って聴講させていただいた。引き続き情報連携させていただければと思う。

[JFE スチール株式会社]

弊社は製鉄業であり、CO2 を排出する企業として、CCS 事業には関心を持っているところである。今後もこうした会議で情報収集させていただくとともに、連携させていただきたい。

[住友化学株式会社]

丁寧な説明をいただき、理解が深まった。弊社も 2050 年のカーボンニュートラルを目指しており、さまざまな技術動向に関心を持っているところである。一方で、こうした取組には、環境や安全性、地域の皆様の理解が大前提であって、本日のような場で丁寧な意見交換を重ねることは非常に重要だと考えている。

[株式会社千葉銀行]

地域金融機関として参加させていただいている。ご存知の通り、千葉県の CO2 排出量は、産業部門で全国 1、2 位のレベルになっており、産業部門が圧倒的に他県よりも多いというところがある。本事業はそういった意味では重要な事業と考えている。一方で、目の前の海ではなくて、半島を横断して九十九里へということで、非常に関係者が多い事業になっているので、お願いしたいところとしては、説明の資料を専門家の方でなくても分かるような表現であったり、分かりやすい数字の比較をやっていただくと、地元の方々も含めて理解が進みやすくなる。そういったところをお願いしたい。

【丸善石油化学株式会社】

弊社としても、ナフサクラッカーを運営する企業として、2050年ネットゼロの実現に向けて何ができるかを模索しているところである。CCSの取組も、可能性の一つとして検討していきたいと考えているところである。

【三井化学株式会社】

弊社としても、このCCSはカーボンニュートラルの重要な選択肢の一つと考えている。環境対策としてやるにも関わらず、安全に問題があるということであっては本末転倒になってしまう。安全については、確実に検討していきたいと思っている。

【株式会社みずほ銀行】

我々としても、CCSは日本の脱炭素に資する選択肢の一つだと理解している。

また、我々としては金融という形で関与させていただければと思っている。本日あったように、住民理解や安全性の理解というところがなくては進められないものだと理解しているので、引き続き説明いただき、また我々としてもサポートさせていただければと思っている。

【九十九里漁業協同組合】

九十九里沖に関しては、巻き網漁業をはじめとした、貝桁漁業、底引き網漁業、刺し網漁業、いろいろな漁業が行われている。この漁業に対して支障がないようにCCS事業を進めてもらいたい。

【質問に対する回答】

【千葉県】

各市町の皆様が地元のご意見を持ち寄って紹介し、それについて受け止めていく場として本会議を活用できないかというご質問をいただいたが、それは可能であり、ご意見を踏まえて、我々としてもそのような形で考えていきたい。

第2回以降の会議で、参加いただいている皆様方から、住民の皆様の声や議会の皆様からいただいている声などを紹介いただくような機会を設けたい。

〔経済産業省資源エネルギー庁〕

事業者の資料5の7ページにある、今後の事業のスケジュール感が示されているが、本当に長い年月をかけて、一步一步進めていく事業だと思っている。当然、こういった事業を進めるにあたっては、地元の住民の方々、地域の方々の理解をいただきながら進めていくということが大事である。このCCS事業の中身については、十分には市民権を得るほどには至っていない。しっかりわかりやすい説明を事業者からすることに加え、我々国側も、千葉県庁をはじめとした皆様とも連携をさせていただきながら、丁寧に進めていきたい。具体的な手続きの監督体制、規制のあり方についても質問があった。

事業者の方から、資料5の7ページに、今後の進め方が示されており、これらに対して国がどのように規律をしていくのか、調査事業のその先の話であり、しっかり説明をしていきたいと思っている。参考資料という形になるが、改めて資料3の33ページ、ご覧いただきたい。また、試掘調査の結果出た後、貯留事業を見据えた話であり、事業者の想定からすると、1年や2年先の話であることを前提でお聞きになっていただければと思う。

CCS事業法はあくまでも貯留事業の許可を行う権限は、経済産業大臣になっている。

ただし、経済産業大臣がこの審査をしていくにあたり、主に保安規制を担っている産業保安・安全グループとしっかり連携を致しまして、しっかり審査を進めていきたい。法律上、環境大臣との協議も必須になっており、CCS事業はこのCCS政策を推進する資源エネルギー庁のみで審査するのではなくて、保安規制を担う省内の部局に加え、環境の保全、海洋環境の保全、環境規制を担っておられる、環境省ともしっかり協議をさせていただいている。

最終的に、経済産業大臣として、許可を出して判断をしていくといったプロセスをしっかりとらせている。さらには、より詳細な実施計画は認可ということになっているが、こちらも環境大臣と共同で認可を行っていく。

この手続きについて、経済産業省と環境省がしっかり連携をして、しっかり審査し、そして必要な規制をしていきたい。

漁業者との調整も大変大事なことである。

次の34ページ目に、CCS事業法は、法律上は先月全面施行をしている。しかし、具体的な運用基準、詳細なガイドライン等は、これから整備をしていくことになる。輸送の手続きについても、審議会で、審議をさせていただいている。おそらく国内第一号の案件になってくる北海道苫小牧のプロジェクトは、順調にいけば、来年には貯留許可の申請が出てく

ると想定される。昨年の審議会で、この地域の調整プロセスについても、考え方を示させていただいた。やはり事業者自身がこの許可を申請していくにあたって、地域の理解プロセスをしっかりと得ていく。特に漁業者との関係性については、しっかり国としても確認をしていきたい。具体的などころについては、しっかり事業者が計画を立てて、国に申請してもらおう。そして国もそういった手続きに、自治体、漁業者との関係が、十分かつ事前に整っているかどうか、ここをしっかりと定めて、審査をさせていただきたいと思っている。

事業者が地域との関係を見捨て、一方的に事業が進むことはないように、しっかり国としても、審査、そして規律をしていきたい。今後の手続きについては、審議会でも、詳細なガイドラインをお示しして、ガイドラインをパブリックコメントにもかけていくことにしており、パブリックコメントからも意見がいろいろ出てくると思うので、そういったご意見もうまく反映をしながら、最終的に詳細のルールを制定し、来年以降の具体的なCCS事業の運用に活かしていきたいと考えている。

〔経済産業省産業保安・安全グループ〕

ミシシッピ州の事故については、審議会でも大きく取り上げて、こうした事故が起きないように保安措置を定めるべく検討を進めてきた。

アメリカとの違いは、ミシシッピ州は超臨界状態での長距離輸送であり、7メガパスカル以上の超高压で輸送していた。

千葉では、そこまで圧力は高めず、2～3メガパスカルの実績が豊富な圧力範囲で輸送予定と聞いている。万一の漏えいの場合にもシミュレーションを行って、その影響を回避することも求めていく。

もう一点、土砂崩れが原因で破断したということについて、我々の導管の技術基準には、土砂崩れが起きそうなところにはそもそも設置させないという基準もある。どうしてもやむを得ず設置する場合には、土砂崩れが起きても耐えられる構造を求めていくというのが基本スタンスである。

冬にかけて、今申し上げたような解釈例とガイドラインを整備する。技術基準省令は性能規定で、荷重に耐えられるようにすること、腐食をさせないことなど、定性的な表現になっているが、どこまで何を求めるかというのは、解釈例とガイドラインで整備していき、申請者と我々審査側の共通認識としていく。

もう少し時間がかかるが、固まり次第改めて説明する。地元で安心・安全だということを理解いただくためには、首都圏 CCS 株式会社がこういった保安措置の規制に準じて、丁寧に説明をしていただくということが重要だと考えている。

[首都圏 CCS 株式会社]

本日、市町の皆様から、住民の皆様の安心、安全が大事だというようなメッセージをいただきました。その思いを改めて受け止め、また先ほど経済産業省からも規制の在り方について説明があったが、国の監督をしっかり受けながら、さらに堅牢な安全措置等を目指してしっかりと進めたいと思っている。

タイムリーに皆様に十分な情報をお渡しするということ、地元の皆様と双方向のコミュニケーションを通じて不安の解消に努めてまいりたい。まずは、今回計画している試掘作業を無事故無災害で終わらせ、皆様との信頼関係を積み上げていきたいと考えている。